

資産・負債・純資産の状況

「貸借対照表」は平成21事業年度末における財務状態を表したものです。
 資産は前年度比44億円増加して2,809億円、負債が7億円減少の864億円、純資産については51億円増加して1,945億円となっています。

貸借対照表【平成22年3月31日】 (単位：億円)

	20年度	21年度	増減
資産の部	2,765	2,809	44
【固定資産】	2,442	2,512	70
土地	1,281	1,281	0
① 建物等	755	790	35
② 設備	144	172	28
図書	220	222	2
その他固定資産	42	46	4
【流動資産】	323	297	△26
③ 現金・預金	96	46	△50
有価証券	175	193	18
その他流動資産	52	59	7
資産合計	2,765	2,809	44
負債の部	871	864	△7
資産見返負債	333	380	47
④ 借入金	213	188	△25
未払金	206	194	△12
寄附金債務	66	71	5
その他負債	53	31	△22
純資産の部	1,894	1,945	51
資本金	1,547	1,547	0
⑤ 資本剰余金	106	140	34
⑥ 利益剰余金	240	258	18
負債・純資産合計	2,765	2,809	44

注) 各金額は単位未満四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

主な増減内容は以下のとおりです。

資産の部

- ①建物等：790億円（35億円増加）
 ・通年型競技施設新営、環境科学院A棟改修、理学部4号館改修、中央キャンパス総合研究棟改修など総額約87億円増加
 ・減価償却負担等△52億円
- ②設備：172億円（28億円増加）
 ・教育用計算機システム、電子顕微鏡システム、質量分析システム、患者総合監視システムなど総額約89億円増加
 ・減価償却負担等△61億円
- ③現金・預金：46億円（50億円減少）
 ・支出額の増加や資金運用の強化等による減少（有価証券の増に影響）

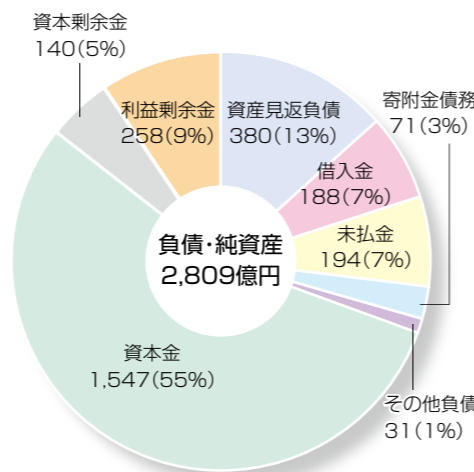
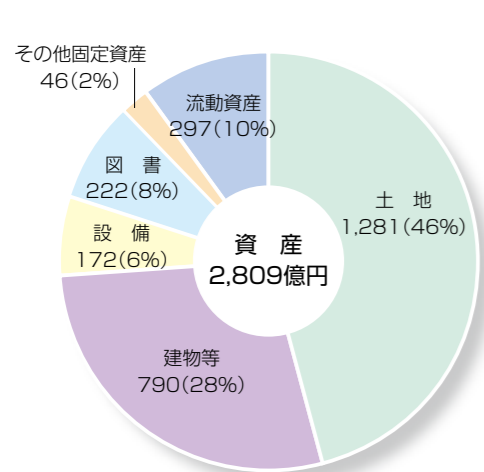
負債の部

- ④借入金：188億円（25億円減少）
 ・約定償還による減少

純資産の部

- ⑤資本剰余金：140億円（34億円増加）
 ・目的積立金、施設費等による資産取得
- ⑥利益剰余金：258億円（18億円増加）
 ・当期総利益53億円増加
 ・目的積立金執行35億円減少

経年推移は21ページ参照



費用・収益の状況

「損益計算書」は平成21事業年度の財務運営状況（経営成績）を表したものです。
 経常費用は前年度比11億円増加して851億円、経常収益は15億円減少の880億円です。この差額に臨時損益を加えた当期総利益は前年度比3億円増加し53億円となっています。

損益計算書【平成21年4月1日～平成22年3月31日】 (単位：億円)

	20年度	21年度	増減
① 人件費	443	443	0
② 教育・研究等経費	147	158	11
診療経費	130	137	7
受託研究・事業費	72	66	△6
一般管理費	38	37	△1
財務費用	11	10	△1
雑損	0	0	0
経常費用	840	851	11
③ 臨時損失	6	8	2
当期総利益	50	53	3
計	896	912	16

	20年度	21年度	増減
運営費交付金収益	399	378	△21
附属病院収益	228	234	6
④ 学生納付金収益	94	82	△12
⑤ 外部資金収益	111	127	16
雑益	21	22	1
その他収益	42	37	△5
経常収益	895	880	△15
⑥ 臨時利益	1	31	30
目的積立金取崩額	-	1	1
計	896	912	16

注) 各金額は単位未満四捨五入しているため、計は一致しない場合があります。

主な増減内容は以下のとおりです。

経常費用

- ①人件費：443億円（前年度同額）
 ・常勤教職員の減少及び外部資金の獲得等による非常勤教職員の増加 等
- ②教育・研究等経費：158億円（11億円増加）
 ・研究活動の活発化による研究経費の増加 等

臨時損失

- ③臨時損失：8億円（2億円増加）
 ・固定資産の除却損（改修工事等） 等

経常収益

- ④学生納付金収益：82億円（12億円減少）
 ・学生納付金を財源とした資産取得の増加
 ※資産取得相当額は収益に計上しません。学納金収入は前年度同額です。
- ⑤外部資金収益：127億円（16億円増加）
 ・教育研究高度化のための支援体制整備事業等の獲得による補助金収益の増加

臨時利益

- ⑥臨時利益：31億円（30億円増加）
 ・中期目標期間終了に伴う運営費交付金債務等の精算

経年推移は23ページ参照

